

# 消費者トラブル増加中

高齢者の相談件数は全体の

# 34.5%

昨年度65歳以上の高齢者の相談件数は3781件中1304件



## 地域で、家族で、みんなで守ろう！

### 高齢者の見守りをしている方からの相談事例

#### ■事例1

一人暮らしの叔母が高額な屋根工事をしたようだ。騙されていないか心配だ。

#### ■事例2

ヘルパーとして一人暮らしの高齢者宅に通っている。不用品の買取業者が自宅に来るようだ。大丈夫だろうか。

#### ■事例3

お向かいの高齢者夫婦の家に、毎日のように作業服に着た人が尋ねて来ている。トラブルに巻き込まれたのではないか？どうしたらよいか。

高齢者の消費者トラブルを防ぐためには、地域の見守りが欠かせません。トラブルに気が付いたら、優しく声をかけ、本人の同意を得た上で家族、消費生活センター、地域包括支援センター、民生委員につなぎましょう。



お困りことがあれば ぜひご相談ください

柏市消費生活センター ☎ 04-7164-4100

よくある相談は  
こちら👉



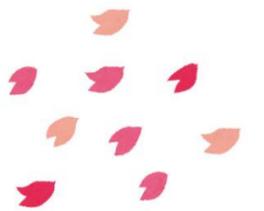
## 最新の相談状況と傾向

- 市内の消費生活相談件数は 3,387件  
(対前年同月と比べ 12件減少 令和4年度3,399件→令和5年度3,387件)
- 商品・役務等別の相談件数で見ると、迷惑メールや不審な電話、覚えのない荷物や架空請求に関する相談が一番多く、全相談の約1割  
(対前年同月比 0.9%減少 令和4年度319件→令和5年度316件)
- 販売方法別で見ると、「通信販売」の相談件数は1,200件で、全相談の約3.5割  
(対前年度比 2.4%減少 令和4年度1,229件→令和5年度1,200件)  
(期間は令和5年4月～令和6年2月)



### 新生活が狙われる！？

年度切り替え時に気を付けてほしい消費者トラブル



進学，就職，転勤，お引越し...新規契約や契約更新等で高額な契約も増える時期です。悪質な業者はそこを狙ってきます！  
下記のサイトやX（旧twitter）で情報を発信しています。消費者トラブルを防ぐために、ぜひアクセスしてみてください。

柏市ホームページ【トラブル事例】



消費生活センター公式X（旧twitter）



## 消費生活センター「計量」の仕事のご紹介～ドリップ～

消費生活センターでは、皆さんが普段スーパーで購入しているお肉やお魚，野菜，惣菜などの量り売り商品について、表示されている量がきちんと入っているか検査（商品量目立入検査）を行っています。



魚や肉を解凍したときに、商品から流れでる液体を **ドリップ** といいます。

では、ドリップは商品の内容量に含まれるのでしょうか？

正解は「含まれる」です。  
魚や肉から流れ出るドリップは、その食品由来の液体です。  
そのため、内容量に含み計量してもかまわないことになっています。  
もし、商品の内容量が気になった場合は、その点に注意しながらお買い上げをお願いします。

